

作成日：2016年11月10日

改訂日：2025年03月01日

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

製 品 名 : セーフタッチ 薬用石けん I P
販 売 名 : 薬用 T M ソープ I (M)
製 造 会 社 : 熊野油脂株式会社
住 所 : 愛知県瀬戸市熊野町 3 5
担 当 部 門 : 試験室
電 話 番 号 : 0 5 6 1 - 8 2 - 9 2 4 5

販 売 会 社 : シーバイエス株式会社
住 所 : 神奈川県横浜市中区山下町 2 2 番地 山下町 S S K ビル / 〒 2 3 1 - 0 0 2 3
担 当 部 門 : カスタマーテクニカルセンター
電 話 番 号 : 0 4 5 - 6 4 0 - 2 2 8 0
F A X 番 号 : 0 4 5 - 6 4 0 - 2 2 1 6
推 奨 用 途 : 薬用石けん (医薬部外品)
効能又は効果 : 皮膚の清浄・殺菌・消毒
使 用 上 の 制 限 : 推奨用途以外には使用しない
整 理 番 号 : T 3 6 7 6 4

2. 危険有害性の要約

化学品の G H S 分類

物理化学的危険性	該当情報なし	
健康有害性	眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	: 区分 2 B
環境有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	: 区分 3
	水生環境有害性 長期 (慢性)	: 区分 3

※上記で記載がない危険有害性は、分類できないか区分に該当しない

G H S ラベル要素

絵表示又はシンボル	なし
注意喚起語	警告
危険有害性情報	眼刺激 長期継続的影響により水生生物に有害
注意書き	【安全対策】 取扱い後は手をよく洗うこと。 環境への放出を避けること。 【応急措置】 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合：医師の診断 / 手当を受けること。 【廃棄】 内容物 / 容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

人の健康に対する有害な影響

- ・ 吸入した場合、刺激性は弱い。
- ・ 皮膚に付着した場合、刺激性がほとんどない。
- ・ 眼に入った場合、刺激性は弱い。
- ・ 飲み込んだ場合、有害性は低い。

環境への影響

- ・ データなし

物理的及び化学的危険性

- ・ 不燃性であり、引火・発火性などの危険性はない。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

成分	CAS RN [®]	官報公示整理番号 化審法・安衛法	濃度又は濃度範囲 (%)
イソプロピルメチルフェノール（有効成分）	3228-02-2	3-521	非公開
ラウリン酸	143-07-7	2-608	非公開
ミリスチン酸	544-63-8	2-608	非公開
ホリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸ナトリウム （ホリ（オキシエチレン）＝ドテシエーテル硫酸エステルナトリウム）	9004-82-4	7-155	4.2
ヤシ油脂肪酸アミドプロピルベタイン	非公開	非公開	非公開
[(3-アルカンアミドプロピル)（ジメチル）アンモニオ] アセタート（アルカン：直鎖、C8、10、12、14、16 又は18）及び（Z）-[[3-（オクタデカ-9-エンア ミド）プロピル]（ジメチル）アンモニオ]アセタート	非公開	非公開	2.7
ヤシ油脂肪酸ジエタノールアミド	非公開	非公開	非公開
N, N-ビス（2-ヒドロキシethyl）アルカンアミド（アルカン： 直鎖、C8、10、12、14、16又は18）、（Z）- N, N-ビス（2-ヒドロキシethyl）オクタデカ-9-エンアミド 及び（9Z, 12Z）-N, N-ビス（2-ヒドロキシethyl） オクタデカ-9, 12-ジエンアミド	非公開	非公開	1.1
ジステアリン酸グリコール	非公開	非公開	非公開
グリセリン	56-81-5	2-242	非公開
アロエエキス（2）	非公開	非公開	非公開
モモ葉エキス	非公開	非公開	非公開
エデト酸塩	非公開	非公開	非公開
ヒアルロン酸ナトリウム（2）	非公開	非公開	非公開
ヘキサデシルPGヒドロキシethylヘキサデカミド	非公開	非公開	非公開
ジエタノールアミン	111-42-2	2-302、2-354	非公開 （残存量：0.1未満※）
アルギニン	非公開	非公開	非公開
アルブチン	非公開	非公開	非公開
リン酸アスコルビルMg	非公開	非公開	非公開
エタノール	64-17-5	2-202	0.1未満
pH調整剤	非公開	非公開	非公開
粘度調整剤	非公開	非公開	非公開
パラベン	非公開	非公開	非公開
水	7732-18-5	—	非公開

※ジエタノールアミンはラウリン酸、ミリスチン酸との中和反応に使用され、残存含有量は0.1%未満。

- ・ 内分泌かく乱作用を有すると疑われる化学物質：環境省「環境ホルモン戦略計画SPEED'98」（2000年11月版）で示された物質（65種類）を使用しない。

4. 応急措置

- 吸入した場合：ミストなどを吸い込んで気分が悪くなったときは、直ちに使用を止めてその場から離れ、新鮮な空気の風通しのよい場所で安静にする。その後、直ちに医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合：皮膚障害が新たに発生した場合等、異状を感じたときは直ちに皮膚科専門医の診断を受ける。衣服や靴などに付いたときは、すみやかに脱ぎ、皮膚を流水でよく洗い流す。何らかの異状を感じたときは、直ちに医師の処置を受ける。
- 眼に入った場合：直ちに流水で15分以上洗い流す。コンタクトレンズは外す。何らかの異状を感じたときは、直ちに医師の処置を受ける。
- 飲み込んだ場合：直ちに水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水または牛乳を飲ませて、直ちに医師の処置を受ける。無理に吐かせようとしない。意識のないときは口

3 / 6 ページ

手の保護具 : 使用上の注意を守った使用においては不要。
 眼、顔面の保護具 : 使用上の注意を守った使用においては不要。
 皮膚及び身体の保護具 : 使用上の注意を守った使用においては不要。

(注) 使用方法や使用環境などに応じた適切な保護具を選択してください。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体
 色 : 白色パール状粘性
 臭い : 特異臭
 pH : 9.0 (原液)
 密度及び
 ／又は相対密度 : データなし
 動粘性率 : データなし
 溶解度 : 水溶性
 融点／凝固点 : 0℃以下
 沸点又は初留点及び
 沸騰範囲 : 90℃以上
 引火点 : なし (不燃性)
 可燃性 : データなし
 爆発下限界及び爆発
 上限界／可燃限界 : なし
 蒸気圧 : データなし
 相対ガス密度 : データなし
 n-オクタノール : データなし
 ／水分配係数
 分解温度 : データなし
 自然発火点 : データなし
 粒子特性 : データなし

(注) 数値はいずれも代表値で表示

10. 安定性及び反応性

反応性 : 通常の手扱い条件においては危険な反応を起こすおそれはない。
 化学的安定性 : 通常の手扱い条件 (屋内、常温) においては安定である。
 危険有害反応可能性 : データなし
 避けるべき条件 : 直射日光、40℃以上、多湿、凍結条件下、開放状態
 混触危険物質 : データなし
 危険有害な分解生成物 : データなし

11. 有害性情報

急性毒性 (経口) : データ不足のため分類できない。
 急性毒性 (経皮) : データ不足のため分類できない。
 急性毒性 (吸入: ガス) : 区分に該当しない (分類対象外)
 急性毒性 (吸入: 蒸気) : データ不足のため分類できない。
 急性毒性 (吸入: 粉じん・ミスト) : データ不足のため分類できない。
 皮膚腐食性／刺激性 : データ不足のため分類できない。
 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有するため、区分2Bとした。
 呼吸器感作性 : データ不足のため分類できない。
 皮膚感作性 : データ不足のため分類できない。
 生殖細胞変異原性 : データ不足のため分類できない。
 発がん性 : データ不足のため分類できない。
 生殖毒性 : データ不足のため分類できない。
 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : データ不足のため分類できない。
 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : データ不足のため分類できない。

誤えん有害性 : データ不足のため分類できない。

その他 : データなし

1 2. 環境影響情報

生態毒性 : 流出した場合は水生生物に対して影響を及ぼす。
 水生環境有害性 短期（急性）: 使用原料の加算式判定の結果より、区分3とした。
 水生環境有害性 長期（慢性）: 使用原料の加算式判定の結果より、区分3とした。
 残留性・分解性 : データなし
 生体蓄積性 : データなし
 土壌中の移動性 : データなし
 オゾン層への有害性 : データなし
 他の有害情報 : データなし

1 3. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

残余廃棄物 : 下水道以外の河川等、公共水域への排出は絶対に避ける。
 廃棄処理をするときは適切な保護具を着用する。
 関連法規ならびに地方自治体の基準に従い適正に処理する。必要に応じて、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者にて委託処理をする。
 汚染容器、包装 : 関連法規ならびに地方自治体の基準に従い適正に処理する。必要に応じて、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者にて委託処理をする。

1 4. 輸送上の注意

国連番号 : 該当しない
 品名（国連輸送名） : 該当しない
 国連分類 : 該当しない
 容器等級 : 該当しない
 海洋汚染物質 : 該当しない
 MARPOL 73／78 附属書Ⅱ及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質 : ばら積み輸送されない製品のため対象外。
 HSコード : 3401.11
 国内法規制がある場合の規制情報 : 次の輸送に関する国内法規に該当するので、定められている輸送方法に従う。
 特になし
 輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策 :
 ・ 輸送前に容器の破損、腐食、漏れなどが無いことを確認する。
 ・ 荷役作業は丁寧に行い、容器を破損しないように取り扱う。
 ・ 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
 ・ 直射日光、40℃以上、多湿、凍結条件下、開放状態での輸送は避ける。
 ・ 水濡れを避ける。

1 5. 適用法令

当該法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

毒物及び劇物取締法 : 該当しない
 化学物質管理促進法（PRT法） : 該当する
 ・ 第一種指定化学物質 管理番号 : 409 （4.2%）
 ポリ（オキシエチレン）＝ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウム
 ・ 第一種指定化学物質 管理番号 : 574 （2.7%）
 [(3-アルカンアミドプロピル)（ジメチルアミノ）アセート（アルカンの構造が直鎖であり、かつ、当該アルカンの炭素数が8、10、12、14、16又は18）及び（Z）-[[3-（オクタデカ-9-エンアミド）プロピル]（ジメチルアミノ）アセート
 ・ 第一種指定化学物質 管理番号 : 707 （1.1%）
 N,N-ビス（2-ヒドロキシethyl）アルカンアミド（アルカンの構造が直鎖であり、かつ、当該アルカンの炭素数が8、10、12、14、16又は18）、（Z）-N,N-ビス（2-ヒドロキシethyl）オクタデカ-9-エンアミド及び（9Z,12Z）-N,N-ビス（2-ヒドロキシethyl）オクタデカ-9,12-ジエンアミド

労働安全衛生法／通知対象物質	: 該当しない
労働安全衛生法／表示対象物質	: 該当しない
労働安全衛生法／有機則	: 該当しない
労働安全衛生法／特化則	: 該当しない
労働安全衛生法／がん原性物質	: 該当しない
労働安全衛生法／皮膚等障害化学物質	: 該当しない
消防法	: 該当しない
薬機法	: 医薬部外品
危険物船舶運送及び貯蔵規則	: 該当しない
海洋汚染防止法	: ばら積み輸送されない製品のため対象外。
水質汚濁防止法／水素イオン濃度	: 該当する
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	: 産業廃棄物

1 6. その他の情報

問い合わせ先 : シーバイエス株式会社
 カスタマーテクニカルセンター
 電話番号 : 0 4 5 - 6 4 0 - 2 2 8 0 / F A X 番号 : 0 4 5 - 6 4 0 - 2 2 1 6

改訂の記録 : 作成 ; 2 0 1 6 年 1 1 月 1 0 日
 改訂 ; 2 0 2 0 年 0 6 月 3 0 日 (記載事項の変更)
 2 0 2 2 年 0 1 月 0 1 日 (JIS Z 7252/7253:2019に書式変更)
 2 0 2 3 年 0 2 月 0 1 日 (化管法改正の為、記載事項の変更)
 2 0 2 3 年 0 3 月 0 1 日 (記載事項の変更)
 2 0 2 4 年 0 4 月 0 1 日 (安衛法改正の為、記載事項の変更)
 2 0 2 5 年 0 3 月 0 1 日 (様式変更の為、記載事項の変更)

引用文献 : ・ G H S 対応ガイドライン、(一財)日本化学工業協会 (2 0 1 9)
 ・ JIS Z 7252:2019 G H S に基づく化学物質等の分類方法、(一財)日本規格協会
 ・ JIS Z 7253:2019 G H S に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、
 作業場内の表示及び安全データシート (S D S)、(一財)日本規格協会
 ・ G H S 分類結果データベース、(独)製品評価技術基盤機構 H P (N I T E)
 ・ G H S 対応モデルラベル・モデル S D S 情報、厚生労働省職場のあんぜんサイト H P

※記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データなどに基づいて作成しており、情報の完全さ、正確さ、安全性を保証するものではありません。新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。全ての化学品には未知の危険・有害性があり得るため、ご使用の際には用途・用法に適した安全対策を実施の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。当安全データシートは、日本国内法規要件に対して作成されたものであり、他の国々における規制上の要件を満たしているわけではありません。

以上